

さくら咲き 心地よいまち ずっとめぐろ

# MEGURO

めぐろ区報

6 | 1 令和7年(2025年)  
NO.2210



## Main Contents

p.2・3 特集 知っていますか?めぐろの都市農業  
p.4 めぐろの水害対策

p.5 ひとり親家庭を支援します  
p.12 STOP!熱中症



# めぐろで見つけた! 大地の恵み。

かつては、畑や水田が広がる農村地帯だっためぐろ。

土を耕し、種をまき、愛情を込めて育てる営みは、都市農業として現代に受け継がれています。

知られざる「めぐろの都市農業」の魅力に迫ります。

☎ 産業経済・消費生活課経済・融資係 ☎ 5722-9879、☎ 5722-9169

## 【碑文谷の農家さんの声】

織戸農園では、エダマメやジャガイモ、ダイコンなどを育て、数カ月ごとに収穫体験を開催しています。江戸時代から代々受け継がれてきた場所で、碑文谷では唯一残っている農地です。毎年、近隣の学校給食用にダイコンを提供していて、子どもたちがおいしそうに食べてくれるのは、やっぱりうれしいですね。都市で農業を続けていく上で大切なのは、自分の暮らしのペースに合わせて、柔軟に農業の手法や内容を変えていくこと。これからもこの場所を守り続けていきます。



織戸農園  
織戸勇一さん

江戸時代から受け継がれるこの農地を守っていききたい。



農業をもっと身近に、都市で土に触れる体験を。

## 【収穫体験】

「区民の皆さんに都市農地に触れてもらい、その大切さを感じてほしい」。そんな思いから、区と農家が協力して収穫体験を開催しています。身近な野菜や果物がどのような形で育っているのか、見て触って実感できる貴重な機会です。参加者からは「遠くへ行かなくても、区内でこのような体験ができるのはありがたい」などの声が寄せられています。都市農地の保全にもつながることから、今後も定期的で開催する予定です。

TRY!

## めぐろで都市農業にトライ

### 【収穫体験】

農業を身近に感じてもらうための取り組みとして、8月中旬にブドウ狩り、11月下旬に秋野菜の収穫体験を予定しています。

※7年度ジャガイモ収穫体験の募集は終了しました

過去の収穫体験の様子はこちら >>>



### 【区民農園】

農地を持っていないかたでも、作物を育てる楽しさを味わえる区民農園。きちんと手入れすれば、立派な野菜が育ちます。



☎ 道路公園課公園活動支援係 ☎ 5722-9242

### 【農産物直売所】

採れたての野菜を購入できる直売所(右表参照)。区内には複数の場所に直売所があるため、興味のあるかたは一度足を運んでみてはいかがでしょうか。



※不定期開催の農園あり

## めぐろの都市農業の魅力

心地よいまちにある大地の恵み、その豊かさを未来にも。

めぐろのまちに点在する農地は、「まち」と「農業」をつなぐ場所。ただ作物を育てるだけでなく、地域に根差したイベントを開催するなど、今ある農地を守り続けるための取り組みが行われています。

【新鮮さがすぐ近くに!】

消費地の近くで栽培しているからこそ、採れたての新鮮な作物が直売所などで手に入ります。

【農業に親しむ収穫体験】

都市部でありながら、気軽に農業を体験できる点も魅力。自分の手で収穫したからこそ、そのおいしさは格別です。

【自然・緑に触れられる】

豊かな植物や土壌などに触れられる農園。子どもたちにとっては、自然を体験できる貴重な学び場です。

【新たなコミュニケーションの創出】

収穫体験などに、子どもから高齢者までさまざまなかたが参加。農家とのコミュニケーションも生まれています。

## 自慢の逸品がここに集う!

### 【農産物品評会】

例年、夏季と秋季の年2回開催している農産物品評会。区内の生産者が手塩にかけて育てた野菜や果物などが出品され、審査員によって優秀作品が選ばれます。評価の基準は、熟度・そろい・表面の状態などさまざま。品評会後に即売会で出品作品が購入できます。体育館外では、農産物の販売も実施。新鮮で安心安全な品物を安価で購入できるとあって、毎回多くの来場者でにぎわいます。

### 夏季農産物品評会の日程

☎ 6月14日(土) ☎ 碑文谷体育館

内容	時間
一般農産物の販売	10:00から
品評会出品作品の即売 (準備完了次第販売開始。整理券配布なし)	14:00から(予定)

※売り切れ次第終了



めぐろの野菜をめぐろで食す。

「めぐろで葡萄ですか?」という驚きを大切にしたい。

### 【ブドウ農家さんの声】

よく驚かれますが、都内で珍しく葡萄(ブドウ)を生産し、収穫体験\*を開催しています。こだわりは、その品種。さまざま食べ歩き、めぐろの土壌に合ったものを厳選しました。ブドウだけでなく、近年力を入れているのは、フランス料理で用いられる果物フィンガーライムの栽培。農業祭での受賞や都内ホテルへの提供など、好評いただいています。今は直売だけですが、いずれは販路拡大にも挑戦したいですね。

※生産状況により、収穫個数を制限する場合があります



根岸ぶどう園  
根岸幸司さん・優子さん



## 目黒区の農園と取り組み

### 【区内農園・ブドウ園・直売所】

区内農園			ブドウ園			直売所	
農園	所在地	直売所	ブドウ園	所在地	直売所	直売所	所在地
織戸農園	碑文谷3-15	—	根岸ぶどう園	東が丘1-29-22	—	小杉衛氏	東が丘1-17-9
栗山貴美子農園	八雲3-24	○	小杉ぶどう園	八雲5-8-3	—	高山満江氏	東が丘1-2-9
栗山さか江農園	八雲3-25	○				辻淑江氏	柿の木坂1-25-10
栗山和弘農園	八雲3-28	○					

### 【地産地消】

めぐろの畑で採れたみずみずしいダイコン。その一部を、学校給食用として区立の全小・中学校やこども園へ無償提供する取り組みがあります。給食に出される田菜や味噌汁などのさまざまなダイコン料理は、いわゆる「地産地消メニュー」。子どもたちは、地元で採れた野菜のおいしさを味わうことができます。生産者との交流も行うこの取り組み。生の声を聞いて、子どもたちが地産地消や都市農業について知るきっかけとなっています。



区立小学校の献立例

## Information

### 【区の事業】

今ある農地を未来に残し、めぐろの都市農業を絶やさなために、区ではさまざまな取り組みを行っています。

区内農業の認知向上
農業経営に対する支援
農業の担い手の育成